

第4回船橋市地域公共交通活性化協議会 会議録

日 時：平成21年8月27日（木）

午前10時00分～11時00分

場 所：船橋市役所 9階 第一会議室

傍聴者：2名

議 長	<p>1．開会</p> <p>定刻となりましたので、ただいまから「第4回船橋市地域公共交通活性化協議会」を開催いたします。</p> <p>本日は、ご多忙にもかかわらず、ご出席いただきましてありがとうございます。第1回会議でご承認いただきました「船橋市地域公共交通活性化協議会会議運営規程」第2条第1項に基づき、本会議を公開することとします。</p>
議 長	<p>2．委嘱状交付</p> <p>それでは次第2、委嘱状交付について事務局よりお願いします。</p>
事務局	<p>事務局より説明</p>
議 長	<p>柳田委員の辞任に伴いまして、現在、副会長が不在となっております。副会長の指名につきましては、協議会設置要綱第7条第1項に基づき、会長が指名すると定められておりますので、私の方から指名させていただきます。副会長につきましては、船橋新京成バス株式会社 常務取締役田村仁委員にお願いしたいと思っております。</p> <p>それでは、副会長席に移動をお願いいたします。</p>
議 長	<p>3．報告</p> <p>それでは次第3、報告に移らせていただきます。報告は2つございまして、1つめでございますけれども委託業者選定結果につきまして、事務局から説明願います。</p>
事務局	<p>(1) 委託業者選定結果について</p> <p>事務局より説明</p>
議 長	<p>この件につきまして、なにか質問は御座いますでしょうか。ないようですので、次の報告に移らせていただきます。</p>

議 長	次に、報告2の市内公共交通事業者のヒアリング結果について、事務局から説明願います。
事務局	(2) 市内公共交通事業者のヒアリング結果について 事務局より説明
議 長	この件につきまして、なにかご質問、ご意見、あるいは補足説明等は御座いましたらお願いいたします。
議 長	4. 議事
議 長	それでは本日の議事でございます、住民アンケートの実施について、事務局から説明願います。
事務局	住民アンケートの実施について 事務局より説明
議 長	このアンケートですが、今回の連携計画を策定する上で非常に重要なものと考えております。いろいろご質問・ご意見等あるかと思いますが、まず、アンケートの対象、配布地域とか、対象範囲等について特にご質問ご意見を頂きたいと思います。
委 員 (バス事業者)	駅勢圏の設定のところですが、船橋市内初乗り駅までの平均徒歩アクセス時間11分なのですが、加重平均で出されたのでしょうか、単純平均なのでしょうか。
事務局	単純平均で出したものでございます。
委 員 (バス事業者)	そうしますと、鉄道の路線などの駅によって当然乗降者数のバラツキがあるのですが、それらは考慮されなかったということでしょうか。一般的にJRの駅というのは駅間の距離が長いのと、比較的利便性が良いので、広範囲から徒歩圏という形で集まっているという傾向があるのではないかと思います。それと京成と同じ尺度で見るとというのが実態とかい離している部分もあるのかなという気がします。
事務局	平均という形で出し、交通不便地域としての設定を広げることによってアンケートの対象地域を広げ、多くの方々のご意見を聞くことができるので、こういう形で設定させていただいております。

<p>委員 (バス事業者)</p>	<p>そうするとあくまでもこれはアンケート対象の駅勢圏ということで、これが今後の不便地域の策定等にあたり、駅勢圏の定義としてこの協議会の中で決めるものとは別ということでしょうか。それともう一つ、意見ですが、何らかの機会でこういった話をしなければいけないかなと思っていたのですが、そもそも船橋市の協議会であるのは重々承知していますが、船橋市内の駅には、隣接する市との境界線に位置している駅がたくさんあります。津田沼駅はその代表的な例ですが、北部は船橋市、南部は習志野市という形で比較的区分けができますが、ただ、市の西部のほうに行きますと下総中山駅、船橋法典駅など、所在地は船橋市ではありますが、隣接の市川市民も大勢利用されておりまして、当社もそこでバス路線も運行している関係で、さまざまな駅に関する地元の住民の方からのご要望を伺っています。よって、当社としても市という単位のなかで協議会を開催しますとアンケートの対象地域が船橋市域の中にどうしても限定されてしまい、隣接市との連携、連帯などを、ぜひ違う枠組みで結構ですのでご検討いただけたらと考えています。</p>
<p>事務局</p>	<p>市域に限ったアンケートという形になりますけど、各市隣接市との協調ということは十分に考えていかななくてはいけないと思っております。例えば、バスについても鉄道についても、一つの市だけで走っているわけではございませんので、今後、十分にこの協議会の検討を受けながら各隣接市の担当部局と連携を取ってまいりたいと考えております。</p>
<p>議長</p>	<p>駅勢圏の関係は、これで交通不便地域を定義したものではないということでございますので、出来るだけ幅広くアンケートを実施してほしいという要望もあり、このような形にしております。この件のほかに何かございますか。</p>
<p>委員 (住民代表)</p>	<p>私の担当は西部地区になります。私の住んでいるところは馬込沢駅の北側にあたる丸山でございますが、ここの場合は周り鎌ヶ谷市に囲われた飛び地になっています。この地図を見ますと、丸山の北部だけがアンケートの対象となっておりますが、実際には、徒歩圏が11分以内、また高低差10mを考慮すると丸山の3分の2はアンケートの対象に当たっているのではないかと思います。その辺を考慮いただきたいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>丸山地区につきましては、資料の1-1において、馬込沢駅を中心にして半径700mで円を引いてございます。しかし、丸山地区につきましては、高低差がありますので丸山の1丁目から5丁目のすべてをアンケートの配布地域にさせていただきます。</p>

<p>委員 (住民代表)</p>	<p>飛び地ですし、鎌ヶ谷の駅に出るのにも大変ですし、バス停もほとんどありませんので、重点を置いていただきたいと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>他にございますか。そうしましたらそれ以外のアンケートの内容等を含めましてご質問ご意見等ございましたらお願いいたします。</p>
<p>委員 (職員)</p>	<p>1,500の回答が得られれば妥当であるとして書いてありますが、こういったアンケート用紙を見ますと裏表にわたって比較的こまかい設問になっているのですけれど、通常こういったアンケートにおいて5000世帯で30%という回収というのは見込めるものなののでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>アンケートの回収票数1,500世帯についてお話しさせていただきます。アンケート調査の理想としましては全数調査ですが、本市のように人口が60万人、世帯数も25万世帯を超えているような状況ですと、莫大な費用と時間がかかるので、どうしてもサンプル調査という形になってしまいます。そこで、本市規模でサンプル調査を行う場合に、理論的に有意義な票数を試算すると、約1,500票程度必要であると試算されています。また、統計学上で申しますと、10万人以上になると必要となるサンプル数も1,500票台とさほど変わりません。よって今回の調査では、回収目標を30%の1,500世帯といたしました。アンケートは1世帯当たり3名の方が回答できる構成となっております。世帯の人数の平均は2.5人であり、よって回収予定サンプル数は3,800サンプルとなり、理論的には問題はないと考えております。仮に、回収数が1,000世帯20%となった場合でも、概ね2,500サンプルが確保できますので、その点では十分大丈夫だと考えています。今回と同じような交通に関する調査の場合ですが、都市の規模が類似している練馬区で行ったバス路線の再編に伴う交通不便調査では、約5,500票の配布に対して、約2,000票、約36%の回収がございました。交通問題ということで関心の深さがあったかと思えます。近場で申しますと、八千代市と船橋市で東葉高速鉄道の連携計画を行っております。その時にアンケート調査を行いました。約22%の回収率でございました。以上のことから十分に合うものと考えております。以上でございます。</p>
<p>議長</p>	<p>この件につきましてはまた別途お願いいたしますけれども、自治会にも協力をいただきたいと思います。</p>

オブザーバー	<p>アンケートの分析方法についてですが、分析の内容に応じてアンケートの項目が決まってくるし、場合によっては今のサンプルの必要数も決まってくるのではないかと考えていますので、これについてももう少し詳しく教えていただきたい。この分析方法を見ると、これでは不便地域というものがわかればいいというふうに見えてしまうのですが、分析の目的はそれでいいのかどうかというところを確認したいです。実は、もう少し細かく利用者が何人どこからどこへ移動しているかという、いわゆるODのようなものがあると、後々バスの再編だとか、新しい交通システムを入れていく時の需要予測につながるデータになるのではないかと考えているのですが、そういったものが別途違うアンケートで行っていくのか、それとも今回のこのアンケートを使うのであれば、そこまで必要になるのではないかと考えています。で、具体的に言いますと、アンケート用紙のほうで今回、問8が中心になると思うのですが、問8で主な外出の機会についての選択肢を一つにしているのですが、これですとどうしても通勤・通学という主なものしか出てこなくて、通院とか、あるいは私用というのがこれではなかなか出てこない。よって、もしたとえばここで議論しているのが不便地域においての、例えば通院のような交通弱者を対象に何らかの施策というのを考えていくのであれば、通院というものが出てくるようなアンケートにしなければいけない、と思いましたので、分析の方法、目的についてお伺いできればと思います。</p>
事務局	<p>今回の業務を委託しております、トーニチコンサルタントさんが今回から出席しておりますので、只今の質問につきましてはトーニチコンサルタントさんからお答していただく形でよろしいでしょうか。</p>
議長	<p>はい</p>
コンサル	<p>トーニチコンサルタントでございます。今のご質問2点あったかと思いますが、まず、このアンケート調査を基に不便度だけを把握するのではなくて、今ご指摘のあったとおり、利用のODも把握していきたいと思っております。ですから、今後改善策を検討していく時の潜在的な需要量も、このアンケートで把握していきたいと思えます。ただし、アンケートは、サンプリング調査でありますから、全数調査ではございません。図面の資料1-1にございますように、国勢調査のメッシュデータというのがありまして、ここに色が付いております。凡例のところを書いてありますが、4次メッシュというメッシュで区切ってありまして、500m×500mの範囲であります。それぞれについて人口が何人ということがわかっていますので、アンケートで得られた利用意向とか不便割合とかそういう率を</p>

	<p>この人口に乗じて潜在需要を出していこうと考えております。</p> <p>それから2点目の問8のご質問ですが、これについては問8の(1)で主な外出目的というのを聞いておりました、問8の(4)で船橋市内に外出している方については細かい行先を聞いておりました、通勤・通学は勤務地等がゴールですが、買い物・通院先・その他というのがどこまで書いていただけるかが難しいところではありますが、その点につきましては施設名を書いていただいて場所を特定していこうと、思っています。以上です。</p> <p>1点目の目的については大体わかりました。ODまで取っていこうということですので、これはサンプリング調査で全数調査をやる必要は統計学的に必要なと思いますので、それはアンケート結果を拡大していくということで結構だと思うのですが、今の2点目のアンケートについてなんですが、私の質問の意図は、主な外出目的というようにしてしまいますと、通院というのは多分かなり少ない数になってしまう可能性がある。つまり通院というのは週一回ぐらいしか行かないわけです。買い物だったら毎日行く。そうすると買い物しか出てこなくて通院が出てこない可能性がある。具体的にいえばパーソントリップのような一日のすべてのトリップを複数聞いていく、あるいはトリップも一つではなくいくつか複数のトリップが出てくるような聞き方をしたほうが良いのではないかと、思いました。そういう意図でございます。</p>
オブザーバー	
コンサル	<p>わかりました。事務局と検討していきたいと思います。</p>
委員 (住民代表)	<p>このアンケートを全部詳しくまだ見ていないのですが、ちょっと気になるのが、今回の検討の目的というのは地域の活性化ということにあると思います。そういう観点から行くと、まずは今のバス路線を基盤にしてどんな改善方法があるだろうかということとはわかりませんが、このアンケートを見たところでは、新規の路線バス要望というようなニュアンスの内容がちょっとないと思います。その代わり問11では、デマンドシステムというような形が問11ででていて、新規路線というようなことが一つも載っていないような感じがするのです。新規路線バスとその延長というようなことも一つこのアンケートの中に入ったらわかりやすいのではないかと思います。特に私が気になったのは、この前の市長選挙の時に市長の公約の中にデマンドシステムを導入しますというような公約が一つあったような気がするのです。ですからそれだけがここに載ってきて新規路線というのがちょっと他所へ行っちゃったのではないかなという感じがします。そこが気になりますのでよろしくお願いします。</p>

事務局	<p>新規路線につきましては問10で、新規路線およびその編入についてお聞きしているという形で私どもは捉えております。たとえば、希望する目的地を具体的に記入してくださいという形で、バスで新たにそこまで持っていきたい、その場合は新規路線になるかと思えますけれど、バスの運行間隔また、バス停までの所要時間がどれくらいであれば利用されるかというところで、お聞きしていると考えております。</p>
委員 (住民代表)	<p>その場合このアンケートをもらった方が見て、いま言ったような感覚で受け止めてもらえるかどうか、ちょっと心配なのですが。</p>
議長	<p>表現をわかりやすい形に変えていきたいと思えます。検討します。</p>
委員 (住民代表)	<p>今後の問題なのですが、分析方法の中で、設定した不便地域に対して各不便要因に応じた交通サービス方針の案を検討しますと書いてあるのですが、その検討するのはこの協議会でやるのか、それとも別の角度の何かを作ってそこでやるのか、それをお聞きしたいと思えます。</p>
事務局	<p>一応事務局でそういう検討させていただきますけども、当然次回のこの協議会の中に諮りまして、皆様のご意見を入れた形を検討していくということでございます。</p>
委員 (住民代表)	<p>今はじめてこのアンケートを見まして、結論から言えば非常によく出来ている、というふうな気はします。しかし、この集計の中で先ほど他の委員から統計学上はこの程度の数をアンケート取れば大丈夫だというようなことなのですが、本当にそうなのでしょうか。非常に複雑な集計になるような気がします。たとえば今まであったバス路線がなくなってしまうところなどは、先ほどODの話がでましたが、結果的に不便と感じている人の数が何人出てくるのだろうか。このアンケートだけで不便地域を確定するものではないという前提がありますけれども、いろいろな地域の声などもさらに別の形で取り上げて最終的に不便地域というものが確定されるのかどうか、最終的に不便地域を確定するのはどうなるのか、その辺が少し気になります。うちの地域などでは今まで有ったところの一部のバス路線だけ無くなってしまったという個所があるのでそういうふうな部分が確実に地域の声としてここに反映できるのかなという懸念があります。結果的に結論、集計結果を見てみないと、何とも言えないのですけれど、その辺の懸念はないでしょうか。</p>

事務局	<p>今回のアンケート結果というものは非常に重要なものだと思っております。このアンケートに加えまして、先ほど話が出た人口の密度、あとそれに加えて今までタクシー事業者バス事業者からの聞き取り調査も行ってございます。その中で、各事業者から積極的な意見も出ておりますし、また、路線によっては廃止したいというようなお話をいただいているところもございます。そういうものもすべて加味しながら交通不便地域を確定してまいりたいと思っております。途中で市民の皆様方にパブリックコメントをかけることも考えていますので、そういう中でご意見を頂戴いたしながら最終的に交通不便地域の確定、またそこに対する施策を、決めてまいりたいと考えております。以上でございます。</p>
議長	<p>住民の方と話をするような機会は設けないのですか。</p>
事務局	<p>現時点では、住民の方とお話をするということは特に考えてございません。しかし、先日もありましたけれども、出前講座という形でお話があれば、それにつきましては私どものほうで、日程が調整できる範囲で講座を開かせていただきまして、その中でこういう協議会の内容、また、進行状況等を説明させていただきたいと考えております。以上でございます。</p>
議長	<p>これにつきましては、今後また自治会の方とご相談しなければいけないと思うのですが、実際連携計画を策定するときに、パブコメだけでいいかというのは多少疑問があると思うので、そこは、どういう場でというのもまたありますけど、やはり話し合うような、説明なり、やりとりするような機会が必要なのではないかと考えています。</p>
委員 (住民代表)	<p>すでに地域から関係のバス会社への要望だとか行政への要望とかが出ており、今事業者から聞き取り調査も行いましたと聞きました。また、今いろいろ事業者からの声とかパブコメだとかあるいは出前講座という部分があり、そういう部分も我々住民サイドとしてこれから考えていけばよろしいのでしょうか、十分住民の声が反映できるような、反映し不便地域の設定が最終的には行われるように希望しておきたいと思います。</p>
議長	<p>アンケート内容を確定させるのはリミットをいつと考えてますでしょうか。</p>
事務局	<p>今皆さんの意見の出たところについては当然改善をさせていただいた上で今のところ9月の中旬に配布したいと予定しています。</p>

議 長	今アンケートを始めて見ていただいたということなので、期限を切ってお気づきの点を出してもらえばいいのではないかなと思います。
事務局	一週間程度でしたら十分反映できるかと思います。9月3日の一つの目安にしてください。
議 長	今の段階で全部というのは難しいと思いますので、もし、お気づきの点があれば事務局のほうに連絡を取っていただければと思います。ほかに特にご質問はありますか。それでは頂いた意見を含めまして、また今後頂く意見を頂いた際には、それを含めて修正させていただくということで、事務局お願いします。
委 員 (住民代表)	このアンケートの11番目でございますが、ここで予約制のバス・タクシーの導入について聞いていますが、参考までにお聞きしたいのですが、これはこういう仕事をなさっている交通機関の関係者の方が、こういうシステムを簡単に受け入れられるのですか。非常にニーズの問題とかバスの大きさとかいろいろな問題があって、導入は非常に難しいのではないかと考えているのですが、この辺はどうなのでしょう。いろいろ皆さん検討なさっていただいたということでございますが。業者の方に、問11でこういうふうをお願いします、お願いしますって来た場合に、実際に地域も広いし、乗る人数もばらばらだし、時間もまだ決まっていないというようなことで、このようなシステムが交通関係の方々はすんなり受け入れてもらえるのかということを知りたいです。簡単にできますよ、なかなか難しいですね、それだけでも大分参考になるのですが。
事務局	今の質問はタクシー事業者又はバス事業者の方々から回答をいただくということでよろしいですか。
委員	はい
委 員 (タクシー事業者)	私はタクシー事業者のものですけども、船橋でタクシー事業者を営むのと同時に、佐倉市、酒々井町でもタクシー事業を営んでいます。そして具体例を申し上げますと、酒々井町におきまして、15人乗りぐらいのマイクロバス4台のデマンドバスを運行しております。これは4事業者が1台ずつ分担しまして、無線の配車センターが町の中心にあります。朝8時から夕方5時か6時、朝の8時から午後の3時は学童の輸送をしています。それが終わりますと、高齢者の交通不便な方が病院に行ったり買い物に行ったりする場合に、私の家に何時に来てくれないかという要望が無線セン

	<p>ターに入りますと、その家まで、デマンドバスと称する14～5人乗りの小型の車が、何人が集まったら行くというようなことでやっておりますので、十分可能性のあることです。当然いろいろと検討しなければいけませんけれども。以上です。</p>
<p>委員 (住民代表)</p>	<p>確認をさせていただきたいのですが、今、検討途中のこういった資料というのは、どこまで公表していいのかどうか、この辺はすべてオープンなのか、それともまだ検討途中であるので、混乱を起こす恐れもあるからそれは留めるということなのか、その辺についてちょっと確認をさせてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>会議の資料につきましては、時間はかかっておりますけれども、すべて議事内容もまとめましてインターネット上で公開はしておりますので、その点では、今お配りしている資料につきましては、検討途中ということで内容の変更はあるかと思っておりますけれども、現時点ではということで、それはお見せいただいても問題はないと思っております。</p>
<p>委員 (タクシー事業者)</p>	<p>まずデマンドシステムについて出来るか出来ないのかというご質問でしたが、出来ます。事業者がその気になれば出来ます。ただその事業者サイドがその気になるかならないかということなのですが、少なくとも私の会社では出来るだろうと判断をしております。</p> <p>もともと電話を受けるセンターというのがありますから、これから何か新しい投資をすとか何かをすることは全くありません。それから、現状で車も運転者も業界は余っています。どういうふうに使っていただくかということをいろいろ考えていただくことは最高のことだと思っております。</p> <p>あとはそこに運賃であるとか料金がどの辺で皆さんの使い勝手がいいのか、その運賃料金がサービスを提供する側にとって適正なのか適正でないのか、言ってみれば損益だとか収益だとかということになってしまうのでしょうけど、その辺の判断だけだと思います。そういった意味ではその辺は工夫の余地がいろいろあるかと思っておりますが、出来ますということをお申し上げてもいいのかなと思います。</p>
<p>委員 (バス事業者)</p>	<p>それでは、バス会社代表というのもおこがましいのですが、デマンドの関係ですが、当社では現状ではデマンドシステムの運行はございません。しかしながら同じように千葉県内の近隣の市におきまして、こういった地域公共交通活性化協議会の中でデマンドシステムを検討しているというのがありますし、あと首都圏でもデマンドバスを古くから、昭和50年代頃から運行しているところもございますので、システム的には十分導入可</p>

	<p>能だと思っています。しかしながら、これを導入するためには、どうしてもサイズの大きい車、乗用車より大きな車が住宅街の細い路地まで入っていくということが想定されますので、むしろ地域の皆様のバックアップが不可欠と思っていますので、そういった観点からもこの協議会の中で、大いに議論していただくというのは有効かと思っています。たとえば道路が狭いというもののほかに、通学路になっていたりとか、あと一方通行になっていたりとか様々な交通規制の問題も関わってきますので、その辺はやはり地域の皆様のバックアップがないと、我々事業者だけではなかなか厳しいものもありますので、こういった協議会の中でこれから大いに検討していきたいと思っています。</p>
議 長	<p>そのほかに何かございますか。よろしいですか。それではご意見を伺いつつアンケートを実施するという事に致します。</p>
議 長	<p>5 . その他 その他ですが、今後のスケジュールについて事務局より説明おねがいます。</p>
事務局	<p>今後のスケジュールについて 事務局より説明</p>
議 長	<p>10月から12月あたり、かなりスケジュールがタイトになっておりますけど、よろしく願いいたします。ほかにその他で何かございますか。特によろしいでしょうか。それでは、いろいろご意見いただきましてありがとうございました。これで第4回船橋市地域公共交通活性化協議会を閉会いたします。ありがとうございました。</p>